

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援わおん				公表日	2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	パーテーションを外し、広く身体を動かせるよう変更した	・様子に合わせて区切ることも臨機応変に行えると、別の活動も提供できるのではないかと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	動線を意識した配置に変更した。	・玄関から室内へ入るゲージが不安定になりがちなので、しっかり固定できるよう改善できたらと思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	トイレの電球を替え、明るく安心できる空間にした。	・トイレ付近の寒さ、暑さ対策に工夫があると安心して利用できるのではないかと感じます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	パーテーションを一部残し、落ち着くための空間にした。	・施設の構造上難しさもありますが、個別で過ごせるスペースがあるとよいのではと思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	記録方法を、目標を意識しやすい方法に変更した。	・記録時に個別に関わった子どもの様子を共有し、振り返りを行ってみたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・評価表の中身を把握できていないが、怪我の報告については職員にも伝えながら迎えの時に個別で声をかける		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・外部評価ではないが、外部にケース相談や研修などを依頼している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部のオンライン研修を受けられる体制に整えた月に1回外部の専門家に、研修や活動の観察評価を依頼している。	・アカデミーはもちろん、紹介された研修にも積極的に参加してみたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	HPIに公開している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者からの聞き取りや観察・質問紙検査など多様な評価軸で評価している			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	ケース会議や計画書の回覧で周知している	・回覧や記録で児童発達支援計画を確認し、振り返りで子どもの様子を共有していきたい ・さらに共通認識を深めていきたい		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・S-M社会生活能力検査を使用			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	達成/未達成の判断がしやすい目標を設定している	・家族支援をさらに明確化し、協働姿勢を取りやすくしていきたい		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	2名程度で分担しながら実施している			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		・活動の内容を変え、同じ内容でも工夫をすることで子どもが飽きることなく活動できるようにしていきたい		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・記録や振り返りで子どもの様子を共有し、場面に応じてそれぞれ子どもの目標が達成できるような支援をしていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝、一日の分担等を確認してから支援に入っている	・朝礼で当日の活動を確認し、子どもが来る前に担当（司会等）を決めて活動を提供することを続けていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	片付けと振り返りで分担して実施している	・記録時に当日の子どもの様子を振り返り、個別で活動の振り返りや質問をこれからもしていきたい ・業務状況によりできない事がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・なるべくその日のうちに振り返りながら記録し、時間内に終わらなければ要点をメモしておきすぐに書けるようにする
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		・もう少し密に併行園との連携があると同じ支援方法が利用児に提供できるのではと感じます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	かけはしシートを実施し、共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	定期的に開催される連絡会で情報共有を実施している	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・地域の施設に出向いた時などは積極的に声をかけるなど、地域に開かれた事業所になれたらと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		・短い時間ではあるものの当日の活動内容と子どもの様子を全体に簡潔に伝え、伝えることがあれば個別に声をかけ様子を伝える
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		・保護者会を1回実施。今後は複数回の実施と、本の貸し出しなどで、保護者、支援者がお互いに研鑽し合う関係を作っていくたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	併行通園施設であるため、保護者の負担を考慮して父母の会などは実施していない。	・保護者会は実施しているが保護者や家族同士の交流を促す機会をつくるまでにはいたっていない。どんな形がこの利用者の方々に合っているのか検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	定期的な面談に加え、様子に合わせて追加で時間を取るなど臨機応変に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・施設の施設と個人的なメモ等の取り扱いを気をつけている
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	視覚支援をかつようしながら、見通しを持てるよう支援している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	行事がなく、行えていない	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・事前に確認しながら避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・情報提供シートや来所時に子どもの様子を聞くようにしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		・その場面の共有や子どもの様子について語り、ヒヤリハットの作成はできていない ・軽微なリスクを気軽に共有し合う体制を整えた
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	外部講師による研修を実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			